目 次

はしがき

凡 例

第 I 部 映像の20世紀

- I-1 「映像と人間」の世紀の始まり 002
▶ 『映像の世紀第1集 20世紀の幕開け カメラは歴史の断片をとらえ始めた』
- I-2 世界戦争の悪夢 004
▶ 『映像の世紀第2集 大量殺戮の完成 塹壕の兵士たちは凄まじい兵器の出現を見た』
- I-3 大衆社会の狂騒と病理——資本主義の文化的矛盾 006
▶ 『映像の世紀第3集 それはマンハッタンから始まった 噴き出した大衆社会の欲望が時代を動かした』
- I-4 プロパガンダ映像をどう扱うか——術中に嵌まる危うさ 008
▶ 『映像の世紀第4集 ヒトラーの野望 人々は民族の復興を掲げたナチス・ドイツに未来を託した』
- I-5 皆殺しの思想——人間の非人間化と機械化の臨界点 010
▶ 『映像の世紀第5集 世界は地獄を見た 無差別攻撃、ホロコースト、そして原爆』
- I-6 独立運動を率いた3人の偉人たち 012
▶ 『映像の世紀第6集 独立の旗の下に 祖国統一に向けて、アジアは苦難の道を歩んだ』
- I-7 冷戦の起源——権力政治とその犠牲者 014
▶ 『映像の世紀第7集 勝者の世界分割 東西の冷戦はヤルタ会談から始まった』
- I-8 せめぎ合う戦争の恐怖と自由への渴望 016
▶ 『映像の世紀第8集 恐怖の中の平和 東西の首脳は最終兵器・核を背負って対峙した』

- I-9 自由と民主主義の主体とは誰か 018
▶『映像の世紀第9集 ベトナムの衝撃 アメリカ社会が揺らぎ始めた』
- I-10 民族自決の理念と幻想 020
▶『映像の世紀第10集 民族の悲劇果てしなく 絶え間ない戦火、さまよう民の慟哭があった』
- I-11 人類が初めて経験した未曾有の世界大戦 022
▶『新・映像の世紀第1集 第一次世界大戦・百年の悲劇はここから始まった』
- I-12 資本主義というモンスターの誕生 024
▶『新・映像の世紀第2集 超大国アメリカの出現・グレートファミリー 新たな支配者』
- I-13 ナチ・ファシスト体制の戦争——映像と記憶をめぐる問題 026
▶『新・映像の世紀第3集 第二次世界大戦・時代は独裁者を求めた』
- I-14 冷戦と権力の謀略——独善的「正義」の闇 028
▶『新・映像の世紀第4集 冷戦・世界は秘密と嘘に覆われた』
- I-15 理想主義が現実の国際政治を動かすとき
——68年の思想のグローバルな転移とその帰結 030
▶『新・映像の世紀第5集 激動の1960年代・若者の反乱が世界に連鎖した』
- I-16 あなたのワンカットは世界を平和に変えるのか 032
▶『新・映像の世紀第6集 21世紀の潮流・あなたのワンカットが世界を変える』

第Ⅱ部 破壊と分断の世界

- II-1 総力戦における「市民」の位置づけ 034
▶『激動の記録「市民と戦争」(前・後編)』
- II-2 誤算と誤認の連鎖——無謬ならざる人間と核兵器は共存できるか 040
▶『十月の悪夢 1962年キューバ危機・戦慄の記録 前編 核戦争への綱引き』／『後編 破壊の淵の13日』
- II-3 ベルリンの壁を崩壊させたピクニック
——「鉄のカーテン」の幕引きの知恵と勇気 046
▶『こうしてベルリンの壁は崩壊した ヨーロッパピクニック計画』

Ⅱ-4 国際法——この不確定なるもの 050

- ▶『核兵器はこうして裁かれた 攻防・国際司法裁判所』

第Ⅲ部 アジア太平洋戦争に向かう日本

Ⅲ-1 時代を映す鏡としてのドキュメンタリー 054

- ▶『ドキュメント太平洋戦争第1集 大日本帝国のアキレス腱 太平洋・シーレーン作戦』／『第2集 敵を知らず己を知らず ガダルカナル』／『第3集 エレクトロニクスが戦を制す マリアナ・サイパン』／『第4集 責任なき戦場 ビルマ・インパール』／『第5集 踏み にじられた南の島 レイテ・フィリピン』／『第6集 一億玉砕への道 日ソ終戦工作』

Ⅲ-2 同じ過ちを繰り返す日本——戦争・原発事故・コロナ危機 060

- ▶『日本人はなぜ戦争へと向かったのか 第1回 “外交敗戦” 孤立への道』／『第2回 巨大組織“陸軍” 暴走のメカニズム』／『第3回 “熱狂” はこうして作られた』／『第4回 開戦・リーダーたちの迷走』／『戦中編 果てしなき戦線拡大の悲劇』

Ⅲ-3 官僚組織としての日本海軍——セクショナル・インタレスト組織的利害・同調圧力・無責任 066

- ▶『日本海軍 400時間の証言 第1回 開戦“海軍あって国家なし”』／『第2回 特攻“やましき沈黙”』／『第3回 戦犯裁判“第二の戦争”』

Ⅲ-4 空襲への想像力をもつために 072

- ▶『東京大空襲』／『本土空襲 全記録』

Ⅲ-5 靖国神社はなぜ生き延びることができたのか 076

- ▶『靖国神社 占領下の知られざる攻防』

Ⅲ-6 「独白録」と昭和天皇・マッカーサー会見 080

- ▶『昭和天皇 二つの「独白録」』

Ⅲ-7 アジアの「解放」と太平洋戦争 084

- ▶『アジアと太平洋戦争 第1回 ジャカルタの一番熱い日 インドネシア独立宣言』／『第2回 独立・48時間の選択 「自由タイ」の人々』／『第3回 マッカーサーの約束 フィリピン・抗日人民軍の挫折』／『第4回 チョウムンサンの遺書 シンガポールB C級戦犯裁判』

コラム 映像をアーカイブ的に視聴する 089

第Ⅳ部 日米戦争と日米同盟

——オキナワの現実——

- Ⅳ-1 データジャーナリズムと戦争の記憶 090
▶ 『沖縄戦 全記録』
- Ⅳ-2 慰霊とは生者のいかなる行為なのか 094
▶ 『沖縄・23万人の碑 戦後50年目の祈り』
- Ⅳ-3 沖縄戦体験の沈黙と「語り」 098
▶ 『沖縄 よみがえる戦場—読谷村民2500人が語る地上戦』
- Ⅳ-4 硫黄島玉砕戦——語られた「真実」、語られなかった「真実」 102
▶ 『硫黄島 玉砕戦—生還者61年目の証言』
- Ⅳ-5 核兵器が配備・貯蔵された島 106
▶ 『スクープドキュメント・沖縄と核』
- Ⅳ-6 沖縄返還とは何であったか 110
▶ 『総理秘書官が見た沖縄返還 発掘資料が語る内幕』
- Ⅳ-7 沖縄の基地問題——真ん中にある欠片^{ピース} 114
▶ 『沖縄 安保と基地の間で 第1回 基地に一番近い学校—卒業生4800人の今』

第Ⅴ部 原爆と人間

——ヒロシマ・ナガサキの人類史的意味——

- Ⅴ-1 核爆発10秒の科学が伝える原爆の非人道性 118
▶ 『原爆投下 10秒の衝撃』
- Ⅴ-2 爆心地の証言と被爆者の戦後史 122
▶ 『爆心地 生と死の記録』
- Ⅴ-3 「使える核兵器論」で切り捨てられた被爆者 126
▶ 『見過ごされた被爆 残留放射線63年目の真実』

- V-4 「語り部」の遺言 130
▶ 『きみはヒロシマを見たか 広島原爆資料館』
- V-5 見えない被害——放射線被曝の経験と科学 134
▶ 『救援 ヒロシマ・残留放射能の42年』
- V-6 原爆は人間に何をもたらしたのか——被爆者の心の傷 138
▶ 『なぜ助けられなかったのか 広島・長崎7000人の手紙』
- V-7 生き続ける禎子さん——「サダコ」物語を超えて 142
▶ 『サダコ ヒロシマの少女と20世紀』
- V-8 死者と出会う記憶の場 146
▶ 『原爆の絵 市民が残すヒロシマの記録』
- V-9 記録された／されなかった長崎の子どもたち 150
▶ 『長崎の子・映像の記憶 原子雲の下に生きて』
- V-10 原爆投下が生んだ被害への日本の責任は何か 154
▶ 『原爆投下 活かされなかった極秘情報』

第VI部 ヒロシマ・ナガサキからチェルノブイリ・フクシマへ

- VI-1 チェルノブイリにおける被害——被災者の声を手掛かりに 158
▶ 『調査報告 チェルノブイリ原発事故』／『汚された大地で チェルノブイリ—20年後の真実』
- VI-2 核汚染が広がる地球——被爆地広島と結んで 162
▶ 『調査報告 地球核汚染—ヒロシマからの警告』
- VI-3 原発事故から住民を守ることの不可能さ 166
▶ 『原発事故 100時間の記録』
- VI-4 問われ続ける「原発避難」 170
▶ 『“原発避難” 7日間の記録 福島で何が起きていたのか』
- VI-5 「真実」とは何か——事故を検証する 174
▶ 『原発メルトダウン 危機の88時間』

- VI-6 「負の遺産」としての放射性廃棄物** 178
——フクシマから問い直す将来世代への責任
▶『東日本大震災 追跡—原発事故のゴミ』
- VI-7 コスト面から原発事故を検証する** 182
▶『廃炉への道2016 調査報告 膨らむコスト—誰がどう負担していくか』
- VI-8 「被曝の森」が人間社会に突きつけるもの** 186
▶『被曝の森2018 見えてきた“汚染循環”』